

国分寺学 授業実践モデル 第3学年

1 単元名

「国分寺大好き～こくベジ～」(12 時間扱い)

2 単元の目標

「こくベジ」について調べたりゲストティーチャーから話を聞いたりする中で、こくベジに携わる人々の思いや考えを知り、そのことを発表できるようにする。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

【課】課題解決力	【コ】コミュニケーション力 協働力	【社】社会参画力
・調べたことやゲストティーチャーへのインタビュー、見学で知った情報を生かし、こくベジの内容や発表方法について考える。	・こくベジの良さや携わる人々の思いや考えについて聞いたり、分かったことを友達に伝えたりする。	・こくベジの良さを知り、こくベジとの関わりを考える。

4 単元の指導計画と評価計画(全〇時間)

時	学習過程	◆目標 ○学習内容	単元で育成を目指す 資質・能力			地域 資源 との 関連
			【課】	【コ】	【社】	
1	課題設定	◆こくベジについて興味をもったり知ったりして、学習の見通しをもつことができる。 ○こくベジのことについて出し合い、クラスで共有する。	○			
2 3 4 5 6	情報収集	◆調べ学習やゲストティーチャーの話、見学など様々な角度からこくベジについて知る。 ○インターネットで調べる。 ○ゲストティーチャーから話を聞く。 ○直売所へ見学に行く(買い物をする)。	○	○	○	① ②
7 8 9	整理・分析	◆集めた情報を基に、こくベジの良さについてプレゼンテーションソフトを活用してまとめる。 ○集めた情報を友達と共有し、発表計画を立てる。 ○発表するテーマを決め、まとめる。	○	○		
10 11 12	発信・実行	◆こくベジについて発表し、学習を振り返る。 ○クラスの友達や保護者に向けて発表をする。 ○学習したことを振り返る。		○	○	

その他(教科等横断的な取組, 関連単元や教科 等)

5 本時（全 12 時間中の第5時）

（1）本時の目標

ゲストティーチャーから話を聞き、こくベジに携わる人々の思いや考えを知り、発表に向けての見通しや意欲をもつことができる。

（2）本時の展開

	時間	○学習内容 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 配慮事項	評価規準 【】 関連する資質・能力
導入	5分	○活動、学習の流れを確認し、めあてを知る。	○めあてを掲示し、ゲストティーチャーからこくベジに携わる人々の思いや考えについて聞くように意識付けをする。	
めあて：ゲストティーチャーにインタビューし、こくベジのことをくわしく知ろう				
展開	35分	○ゲストティーチャーにインタビューする 例）・こくベジを始めた理由 ・こくベジは今後、どのようにすすめていくのか。 ・こくベジに携わっている農家の数は。	○似たような質問をまとめてするように促す。 ○自分の考えていなかった質問はメモ欄に記入するように声を掛ける。 ○ゲストティーチャーの思いが聞けるように意図的に児童を指名する。	☆こくベジに携わる人々にインタビューして思いや考えを聞く。 【コ】
まとめ	5分	○ゲストティーチャーからインタビューについて評価を受ける。 ○学習の振り返りをする。	○ゲストティーチャーから取り組みについて評価してもらうようにする。 ○次時に見学に行くことを伝える。	

6 地域にある様々な資源と活用することで期待される効果

（人材、協力者、公共機関、民間企業、施設、団体 等）

番号	人材、協力者、公共機関、 民間企業、施設、団体 等	活用することで期待される効果
①	こくベジプロジェクト 関係者	こくベジのこれまでとこれからについて知ることができる。
②	こくベジ直売所（国分寺駅北口駅前広場イベント広場） 国分寺ファーマーズ・マーケット	こくベジの物や携わる人、買う人に触れることができる。

7 成果物や様子（写真）などのリンク